



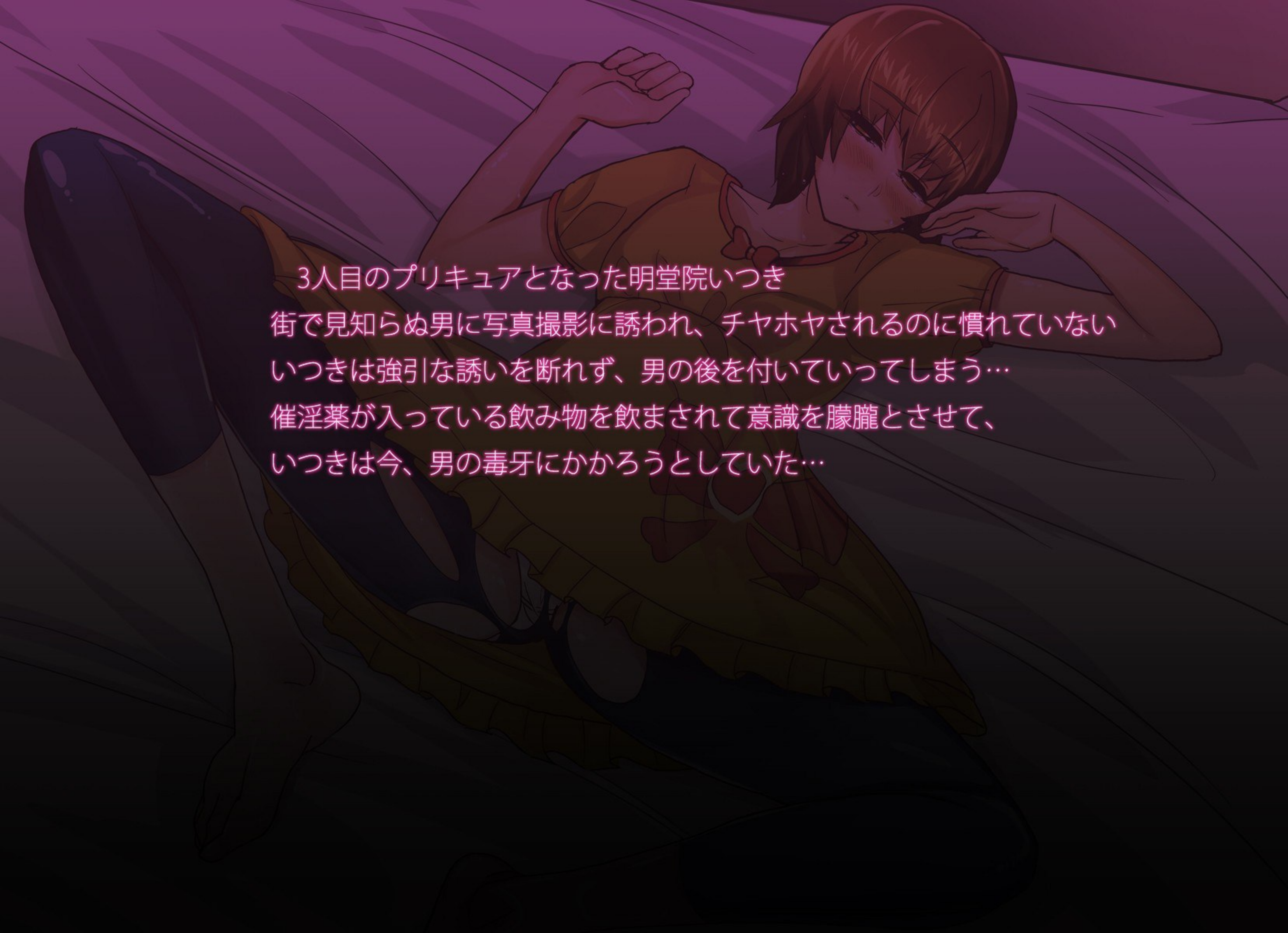
輪の花...闇に散る

中出しOK!

Sunshine Slave!!

サンシャインスレイブ!!

キ○アサンシ○インCG集
基本CG24枚!!文字付差分アリ!



3人目のプリキュアとなった明堂院いつき
街で見知らぬ男に写真撮影に誘われ、チヤホヤされるのに慣れていない
いつきは強引な誘いを断れず、男の後を付いていってしまう…
催淫薬が入っている飲み物を飲まされて意識を朦朧とさせて、
いつきは今、男の毒牙にかかろうとしていた…

あ…れ？…ここ…どこ？
なんでこんなところで寝てるんだっけ…

「大分強い薬を使ったんだが気分はどうだい？」

…薬…？

「これから大人の女になるんだ…
しっかり記録してあげるからね」

…どういう意味？

…体…熱くて…頭がボーっとする…

体が少し楽になった……？
だけど……胸……痛いっ……！

「ずいぶん女つけない下着履いてるんだね
今度おじさんが可愛らしい下着買ってあげるからね」

「……シヨーツが愛液でぐっしよりだ……
いつきちゃんのエッチな匂いで
おじさんも興奮してきたよ……」

……なんで、僕、下着？



これ…夢…なのかな？
見られてる？…全部…ッ

「いいかんじに感じてきてるね…
ドキドキしてたまらないでしょ？
すごく気持ちよくなつてくるからね」

ハア

ハア…

ハア
トクッ

トクッ

トク
トクッ

じゅあ…

「そろそろ下の具合を見てみよう…
もうトロトロいなくなっちゃってるね」

え？…えっ？…



「まだ毛も生えてないつるつる
おまんこにきれいな処女膜…」

嘘…そんなところに
口つけて…いや…全部…
舐められてるっ…

「いつきちゃんは「こもきれいな」
洗ってるんだ
すごく綺麗だよ
でもすこしオシッコの味がするかな」

やつ…こんな事されて気持ち…悪いのに…
体…あつ…い…っ

「舌の先っぽが締め付けられる…
こんな若くて上質なおまんこ
久しぶりにおじさん本気で興奮してきたよ！」

ハア。

ハア…

ハア

トクッ

トクッ。

トクッ
トクッ

しゅあ…



「これがいつきちゃんのだらけを破る
チンポだよ…ほら、匂いかいでみて」

…変な…におい
くさい…頭…ヘンになりそ…

「ハア…ハア…
先つちよ舐めてごらん？
口でも気持ちよくできる
ようにならないとね」

なに？これ…
このヒクヒクしてるの…舐める…？

…苦くて…すぐく…しよっぱい…
気持ち悪いっ

「そう…先っぽを…割れ目にそって…っ！
我慢汁舐めて」

割れてるところに触るとびくびくする…
へんなのっ…よだれ？溢れてくる…

「そろそろイクよ？
おじさんの精子…赤ちゃんの素…
まずは顔で味わって……ツツ！」

アユ…

え？あじわうって…なにを…
えっ！？



お腹の上が熱い…終わった…？

「いきなり中出しは勘弁してあげるよ…
はじめてのきつきつおマンコを
生で味わえるなんて興奮が収まらないよ」

…はじめて…いやっ…うそ…
逃げなきや…もうこんなの…
いやだ…っ

「さあ続きしよう！
今度はゴム使うから
中でイっても大丈夫だよ」

そんなっ！
いやっ…もう…しないで…っ



…いたつ…ツツツ…いたい…
奥まで…刺さってるっ！
こんな…無理やり…嫌
おかしいよ…

「硬いコリコリに亀頭押し付けると
キュンキュンして気持ちいい…
初物はやはり最高だ！」

「やっぱりスポーツやってる子は
膣の締りが違うな。
体も締まっていくくらでも欲情しちゃうよー！」

勝手なことばかり言って…
…体…からだ…どうして動かないの…

「イクよ？
おじさんの精液出るの奥で感じて？」

…奥…ばかり…突かないでえっ…

お腹の中…膨れてっ…
…体…反応しちや…う

「射精と同時に全身で
チンポを絞られるとは…
薬が効いてるとはいえ
エッチだね…」

ちが…っ

「さあまだまだ
ゴム残ってるよ！いつきの
おマンコにおじさんを
しつかり慣らさないとな」

うそ…まだ…するの…？



男との卑劣な行為は記録され、脅迫されるいつき
友人や家族に知られることを恐れたいつきは
嫌々ながら男の言い分に従ってしまう…

男はいつきの生活のあらゆるところに現れ、体を要求する
今日も学校帰りにホテルに連れ込まれ、
まだ未発達な性を男の手によって開発されていくのだった…

「今日もかわいいよいつき…
日ごとにやらしくなってみんなに
女の子つてばれちゃってるんじゃない？」

「…そんなこと…ない…」
大丈夫…前は薬を使われてたから…

「おじさんが買ってあげた下着もつとよく見たいな
制服脱いでよ」

…すぐ、終わる…だから
少し我慢すればっ…



「改めて見ると結構エッチな体してるよね」

…見られてる…男の人に…恥ずかしい…

「結構汗の匂いするね…買ってもらった下着で興奮しちゃった？」

「してないっ…匂いかぐなっ…変態！」

「汗臭いいつきの匂いかぎながら…
ああ…イキそうだ！邪魔だから下着も脱がしちゃうね？」

ううう…鼻息荒くなつて…
興奮してるの？…気持ち悪い

ドピューー！ドピューー！ドピューー！ドピューー！

「あ……うわ……うう……うう」

あつ……ゼリーみたいなの……っ
生臭い……いや……匂いが……気持ち悪……

「いつきの汗とおじさんの精液が混ぜあってドロドロ
になってる……すごくエロいよ」

僕の……体……よ……汚れて
精液染み込んで……

「今日は愛し合っ前どじっくり濡らしておかないとね」

「変なこと…言うなっ」

「もういいから…早く終わらせて…」

指…そこなぞったらん…やめ…っこんなとき…

「せっかくだからお漏らししてる姿みたいな」

「ううう…トイレいきたい…」

「なんでそんなことまで…離せ…へんた…」
そこっ！摘まれた…らあ…だめ…！

ヌチ

世がキッ！！

ワキ



「おお！出てる出てる
人前でお漏らししちゃうなんてはしたない娘だ…
クンクン…いつきのつてこんな匂いするんだ…」

やっ
もれちやっ！！

うあ
あおあ

「またいつきの恥ずかしいところ見ちゃった」
こんな…簡単につ…どうして…
こんな男の前で…お漏らし…見られて…

嘘…こんな…もう僕…いやあ…

出クンッ

出クンッ

プニ
ヤア
アア
アア
ア

109/109

「おじさんも気持ちよくして？
はじめてだからまず布越しにね…できるよね？」

こ…これが男の人の…
パンツ越しにもすごい反り返ってる…

「やさしく口つけて…そう…涎をまぶして…」

っはあ…

ムチュ…

ん…

ア…

ズズッ!!

トホッ!

ビクッ♡

汗と、塩辛い、生臭い匂い
こんなのに涎だらけで口つけて…僕は…
—考えちゃ…だめだ

「これがいつきの中に出たり入ったりしたんだよ
興奮しちゃって精液上っちゃうよ…舌でわかる？」

ビクビクッとして…熱い…興奮…してる？

「無理に飲まなくていいよ…すごい匂いだらう？」

顔に…こんなにたくさん…
うら…髪が…ドロドロになってる…
「ケホツ…ケホ…ツ！」

出ワッ!
出ワッ!
出ワッ!

「ほら…おチンポ口を使ってきれいにして？」

しゃぶるの？これ…まだたくさん出てくる…
男のこんな…モノ口にして…僕は…
精…液…口…に…にがい…

「口でもいつきにイカされちゃったな
舌でチロチロしてくれるのすごく気持ちいいよ」

…気持ち…よく…ない

「おじさんのチンポどうだい？
まだちよつと痛いかな…
暴れると困るから縛らせてもらうね」

「…っ！うっ…！」
無理やり…体にねじ込まれてる！
人の体を玩具みたいにつ…！…クツ！

「卑怯者！
こんな風にし…セックス
できないなんて…っ」

「怒った顔もかわいい！
いつきおマンコでこするのきもちいい…
たくさん出してあげるからね！」

—うう…突き上げるの…早く…なつて…きた



……このままじゃ……中に

「はじめての膣内射精だよ……
大人の女になるためには必要なことだ
全部受け止めて！」

駄目……妊娠……しちゃう……

中
中
中

やあああ
やあああ

あああ
あああ
あああ

体動かせない……必死にもがいてるのどう！
こんな……男の言いなりになって
無理やり……されて
妊娠……するの？

「赤ちゃんでも来ても
おじさんが認知してあげるよ」

そんなの……嫌だ……っ

クチュ♡

クチュ♡

クチュ♡

クチュ!

クチュ

クチュ♡

やめ
やめ
やめ
え

かあー
やだ
やだ
やだ

中に…出されて…でてる…でてるうー…う

「ううっ！初めての中出しイクッ！
いつきの中…精液が入り込んでドロドロだ…」

がッ

がッ

うっ！

がッ

がッ

ブルブル

熱い…熱い…

ビクビクつて…まだ…でてるう…

「よく塗りこんであげるからね
滑りやすくなつたおマンコで…
もう一回イクからね？」

もうやめ…お腹…
いろんなところこすられて
変になる…

ドクドク
ドクドク

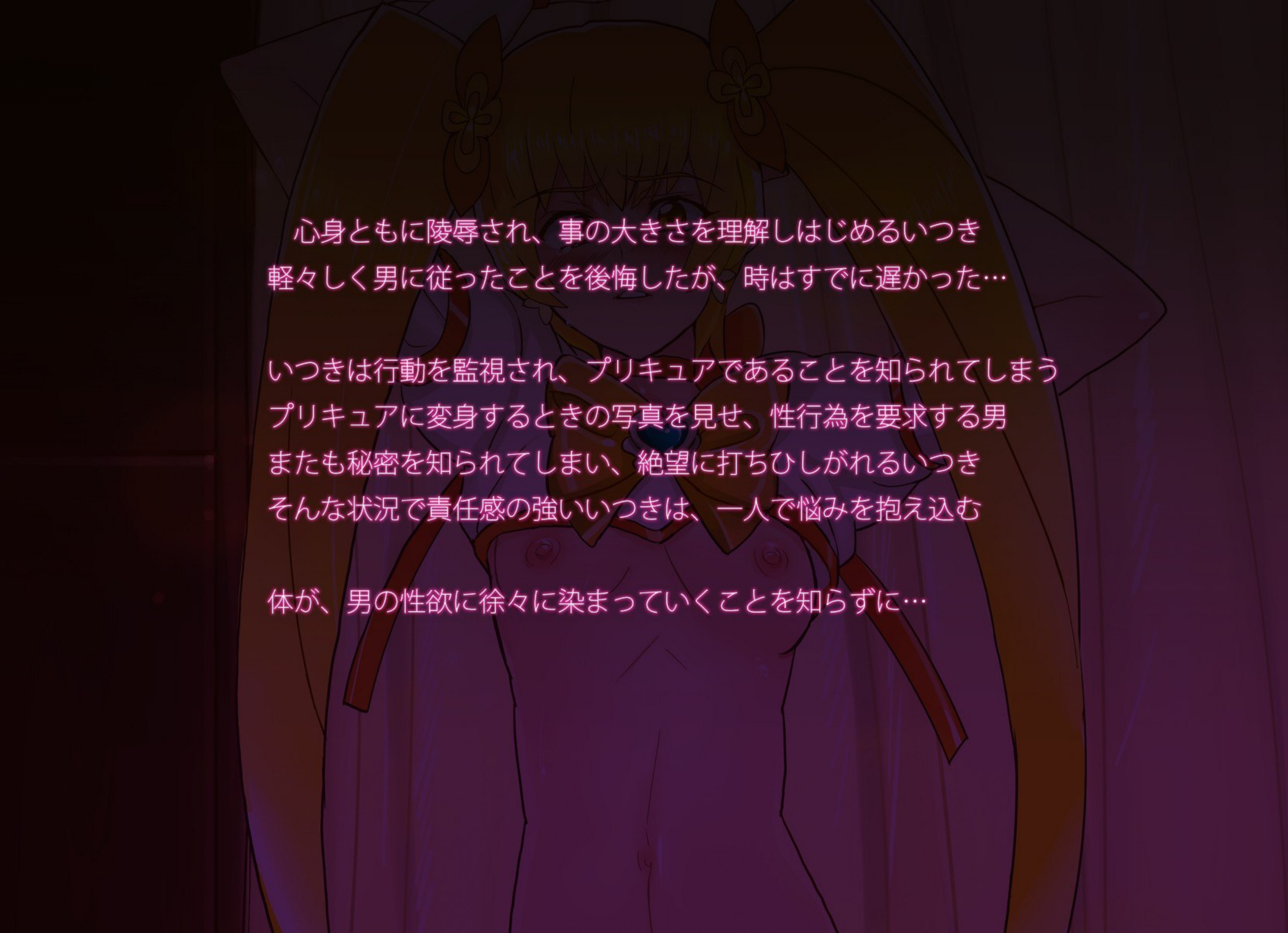
シシ

ドクドク

ハハハ

グッ

ガッ



心身ともに陵辱され、事の大きさを理解しはじめるいつき
軽々しく男に従ったことを後悔したが、時はすでに遅かった…

いつきは行動を監視され、プリキュアであることを知られてしまう
プリキュアに変身するときの写真を見せ、性行為を要求する男
またも秘密を知られてしまい、絶望に打ちひしがれるいつき
そんな状況で責任感の強いいつきは、一人で悩みを抱え込む

体が、男の性欲に徐々に染まっていくことを知らずに…

「…変身したいつきもすごくかわいいね
いや…キユアサンシャイン」

…全部…見られちゃった…全部…つ…
…こんなんじや…プリキユア…失格だ…みんな…絶対軽蔑する…

「…このことは…その…」

「おじさんの秘密でいいんだよね…
大丈夫…このことは誰にも言わないよ」

…ッ…大丈夫…

私が、しっかりおじさんのこと
気持ちよく…させれば…

ドクッ……ドクッ……ドクッ……

「ん……んふ……つう！」

ああ……汚れてく……プリキュアの……服……
かわいくて気に入ってたんだけどな……
精液の匂い……とれなかつたらどうしょ……

「……こんなにドロドロになって……すごくかわいいよ……
キュアサンシャイン……さあ、こっちにおいで」

……かわいい……だつてさ……ハハ……
また、するんだ……私の体の中も、こんな……汚れ……

「は……い……して……ください」

おじさん興奮してる……私……上手に……できたかな

「…そんな腰…うづかき…刺さる…ツッ！」

「胸にも集中して？くすぐったいぞしよ？」

「ひくっ…う…く…！」

「フワッ！」

「ほら…指とチンポ…こすれてるよ？
壁クニクニするのいいでしょ？」

「…おしりに…指…入れ…な…！」

「そんなに締めたらまた中でいつちやうよ？」

「う…っ…！」

「ぐ…っ…！」

「ぐ…っ…！」

「ぐ…っ…！」

「ぐ…っ…！」

「アツ♡」

「アツ♡」

「アツ♡」

「アツ♡」

「アツ♡」

「アツ♡」

「アツ♡」

「アツ♡」



世
ク
ニ
!

世
ク
ニ
!

…中で…はねて…る！
体…固定されて…もう…射精ちやう…
「いや…中はやめて！…も…いやあ…」

「ああ…イクよ？イク…ツ！」
ゴリユツ！

…ゆび…指が食い込んで…深い…っ



ゾクッ！

あ…れ？中の…抜け…た？
っ…背中…ッ…あつ、熱…い？

「中に出されると思った？
体に精液塗りこんであげるよ…」

!?

う…っ

「もう…おしりいじるの…やめて…っ」
私の体…玩具にされてる…

「お尻の穴がきゅーって締まってもっどほじってっでいらってるよ？
今度こっちの穴もたくさんしてあげようかな」

…こんな…ところを…変態っ…
入り口…さすられると…ヘンド…っ

ムロオ…

ムロオ…

ムロオ…

「それじゃあ…パイズリするから横になつて」

「パイ…ズリ？」

「その小さい胸でおチンポ気持ちよくするんだよ」

そんな…なこと…どうして

「サンシャインの体はどんなところでも男の人を
気持ちよくできるのを知つてほしいな」

「ヘン…タイ…」

私の…体…全部…嘘…

勝手に欲情してるだけの癖に…

「いいよ…もつと言つて…」

おっぱい…ドクドク言つてかわいいよ」

「変態…変態！…へんたつ…」

胸…触つて…勃起してる…

やつ…心音聞かれて…」

「そんな…」

やさしく…んっ…やあ」

…そんないやらしい…目で…みないで…

「ヘンタイ…へんた…っ」

「小さいけど結構こすれて気持ちいい…
やっぱり…体…全部使えるね」

うう…ゴンゴンして胸…痛い…

「心臓の音おチンポに伝わってくるよ
うれしいんだ？…こう…されるのっ」

—違う！

「おマンコの中で…こうなってるんだよ…
エッチなお肉でカウパーたれちゃって…っ！」

カウパー？…透明な…つば？
胸に…広がって…

ズルズル！！

ズルズル！！

ズルズル

「精子がこのよだれにのって
サンシャインの子宮に広がるんだ
…射精…精子出るとこみて？
たくさん受精してっ！

体中…カウパーで
ドロドロ…や…受精…しちゃ…

「へ…た…いい」

変態の精子で…私受精…する？

「ふう…乳首の「リリ」こすれていつちやつたよ…
よかつたよ…小さい胸なんていつてごめんね」

出てる…何度も…何度も…
濃いゼリー状の精子…張り付いて…
こんなの…私の中に…

「妊娠したらさ
大きくなつたおっぱいでまたしたいな」

…染み込んで…く
体中に…精子…つ
…駄目…こんなの…怖い…

「息…荒くなってるよ
興奮した？」

興奮なんか！
…でも…
…なんで…
体…お腹…熱い…っ？

「ハア…ハア…」

「やっぱりここに入りたいて…チンポ言ってるよ？」

…こんな格好で…エツ手な所、丸見え…

「性器同士でキスしてるよ？」

「プニプニなところでこう…こう…こうするの…気持ちいい…」

「体…抵抗できないように抱きしめられて…また…するんだ
あれが…私の奥に…」

ズキツ！…ズキツ！…

おチュ♡

コスッ♡

コト

「期待してるんだ…おまんこから
おつゆ漏れて…カウパーと
混ぜてくよ？」

準備…してる？

この人の…チンポ…受け入れるための

うう…奥が…ズキズキする…

ビクッ

ビク

ぬ…ぷっ！パタッ！

あ…抜けちゃ…つた…

—何回…だしたんだろ…

早く…突くだけじゃないんだ

アソコ…全部…なぞられて…

「ゆっくりされるのもいいでしょ？

撫でてると気持ちよさそうにビクツてなるんだ…

もうおじさんの形に慣れちゃったのかな？

…私の穴…犯されて…広がっちゃった？…

痛い？…なんか…ジンジンして…変な感じ

…こんなに大きいのが入ってたんだ

「たくさん愛し合ってたね…

精液と愛液が混ざり合って…

すごいでしょ？」

私の中から糸引いて…

…すごい…匂い…頭…クラクラする…

こんなのが私の中で…

…私…わたし…っ？

…こんな…乱暴…されて

脅されて…無理やり…なのに

体…受け入れて…っ！どうして

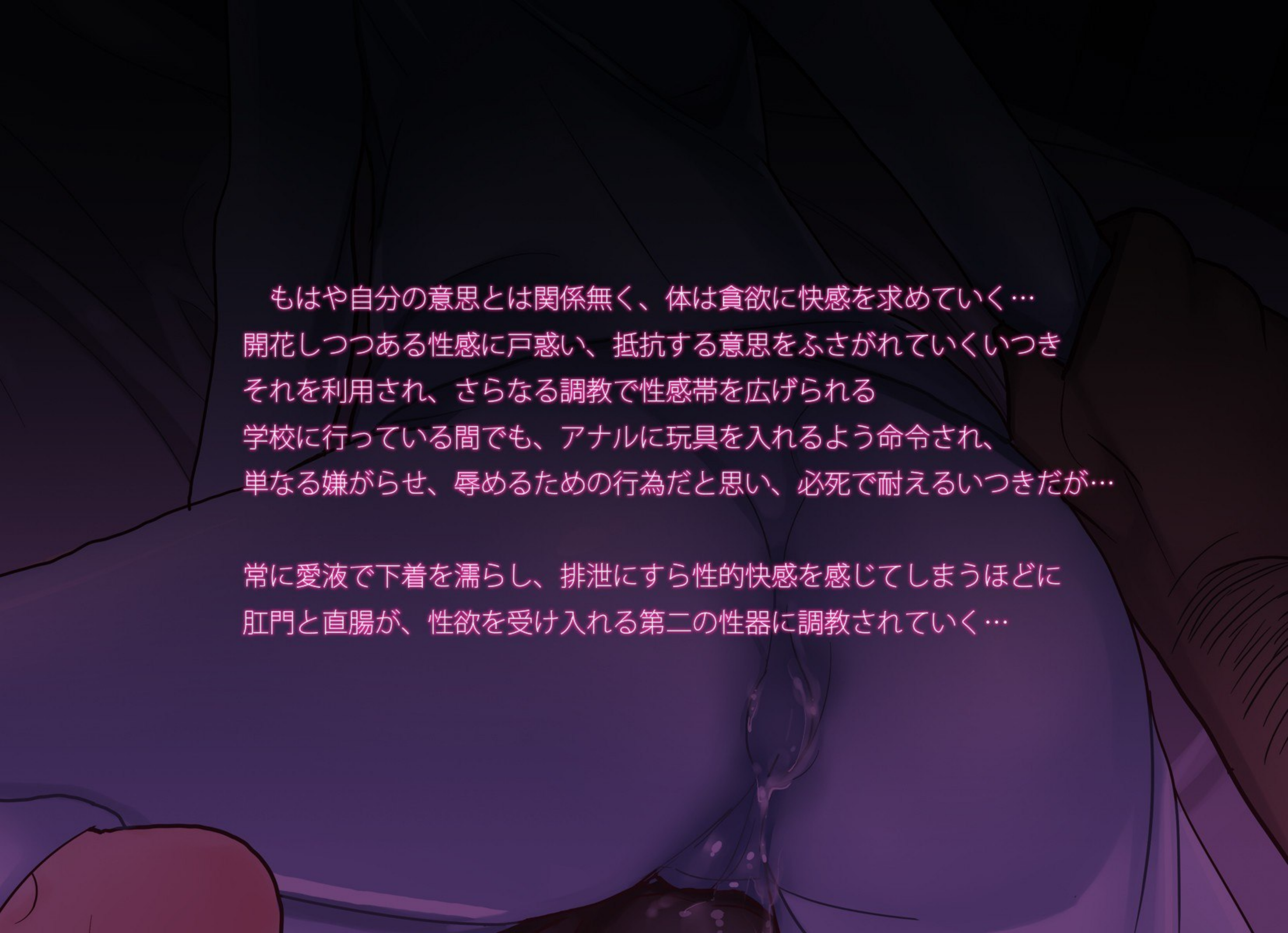
…ああ

精子、体の奥に広がって…

「いつきは精液大好きなエッチな子だからね
心は拒んでも体はきつと欲しがってる…」

わた…ぼく…こんな…汚…されて

僕…ヘンタイ…なの？



もはや自分の意思とは関係無く、体は貪欲に快感を求めていく…
開花しつつある性感に戸惑い、抵抗する意思をふさがれていくいつき
それを利用され、さらなる調教で性感帯を広げられる
学校に行っている間でも、アナルに玩具を入れるよう命令され、
単なる嫌がらせ、辱めるための行為だと思い、必死で耐えるいつきだが…

常に愛液で下着を濡らし、排泄にすら性的快感を感じてしまうほどに
肛門と直腸が、性欲を受け入れる第二の性器に調教されていく…

「ちゃんと言い付け通り、アレ、つけたまま学校いったんだ
えらいよ…ちゃんとトイレできた？」

「すぐく…大変だったんだ…もう…十分だろ…
はやく…はずして！」

「お尻ひくひくして…いじって欲しいって聞かせるよ？」

「したいんなら犯せばいいだろ！
こんな…こんな…つかかしいよ…」

「こんな所で感じるのの変態？」

「ムムムは…関係ない…っ」

「いつきならきつと感じれるよ
ムムムでもエッチできる
…ムムム…そう言ってるよ？」

…冗談…ばっかり…

出ワッ

出ワッ

出ワッ

「…うわあ…すごいエッチな匂い…
いつもの愛液と…汗と…腸液…の匂いだ…
これ…絶対周りの男子欲情してるよ…」

…うう…みんな…僕が変で…よそよそしかった…
欲情…おじさんみたいに…興奮…して？

うぐ…

ヒク…

どん…

グ
チゅ♡

「想像して？」

「みんないつきを思っておチンポこすってるよ？」

「そんな…はず…ない」

「こんな…姿…きつと、みんな僕のこと…」

「幻滅…軽蔑して…や…あ…っ！」

「現実のいつきはお汁たらたらでおチンポの上で股間こすってる
どうしようもない変態だけどね」

…あ…あ…あ…っ…ごめ…んな…さ…っ…

「……あ……あああつ！」

引き抜かれて……頭……真っ白に……

「ほんとにトイレの時以外つけてたんだ……

いつきの中……丸見えだよ

でも、汚いの付いてないんだ……」

ドクドクニッ

あー！

ドクッ！

ドクッ
ドクッ
ドクッ

ガク

コポオ！

ガッ

トロォー

ギョウッ

「言いつけ守れるなんてえらいな
……いつき、大好きだよ」

やあ……っ！……な……んで？
腰……震えちや……

「……」で気持ちよくなつていいんだよ？」

……「……」……いいの？

ああ……奥……もつと……奥……むずむずする……

アッ

コッ

「それじゃ…
どれぐらい尻穴広がったか
確かめてみようかな…」

「駄目…そんな…だめ…っ」
…入れられるんだっ…
あんなに太いの…入らないよお…っ

「ドクドク言ってる…
期待してるのかな？いつき」

「やっぱり…無理…
お願い…なんでもするから許して！」

「大丈夫だって
ほら…力抜かなくちゃ駄目だよ？」

…本気で…するつもりだ…
どんなに抵抗しても…これまでみたいだ…
無理やり奥までねじ込まれて…ッ！

…僕…どうにかなつちやう…

か
ハ
マ
ッ

ズプ…ズプズプ…ズプ…ツ
滑り込んで…くる…太い…っ

「ツルツルして…おまんこと
感じが違うね…もう少し力抜いて？」

うっ
あぁあぁあぁ

んっあ
んっあ

んっ

んっ

んっ

「お尻でこんなにチンポ咥えこんでるよ…
こんなところでセックスできるようになったね…
なんて悪い子だ…いつき」

お腹…変になつちや…う
もつと…奥に…奥…押されちや…う

いろんな…所…
僕…悪い…あつ
…お腹…じんじん…する…
悪い子…だから…？」

「もつと奥…いくよー！」

ブクッ!
ブクッ!
ブクッ!

ブクッ
ブクッ
ブクッ

んっ!

んっ!
んっ!

「…あぁあ…あぁあ…あつっっっ！」

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

オッ!?

「ハア…ハア
獣みたいな声出して…
そんなに気持ちよかった?」

獣…みたい…?
きもちよくなんか…?

出ク
ビク!

たくさん…精液…あふれてるっ
こんなに…注がれて…
…お尻で…するところじゃないの!

「プリプリなお尻すごい…
いつきつてこんなところでも
男イかせられるんだ…」

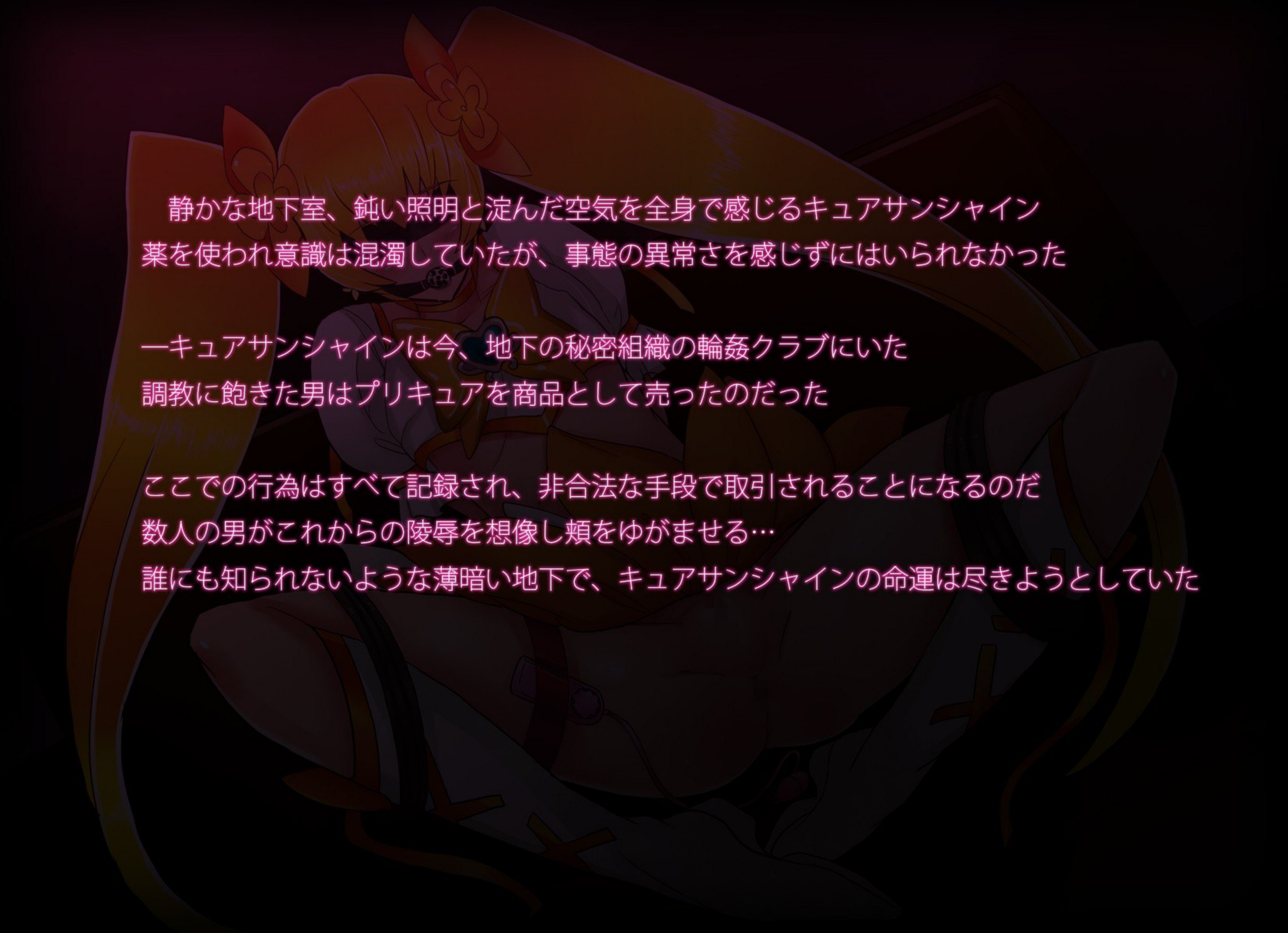
…あれ?腰カクカクして…
お尻でいつちやった?」

ビク
ビク

いつてない!…いつてなんか…?
…でも…こうされるの…気持ちよかった?
奥が…満たされるような感じが…?

何考えてるんだろ…僕…も…やだ…

ゴキ
ゴキ
出ク
ビク



静かな地下室、鈍い照明と淀んだ空気を全身で感じるキュアサンシャイン
薬を使われ意識は混濁していたが、事態の異常さを感じずにはいられなかった

—キュアサンシャインは今、地下の秘密組織の輪姦クラブにいた
調教に飽きた男はプリキュアを商品として売ったのだった

ここでの行為はすべて記録され、非合法な手段で取引されることになるのだ
数人の男がこれからの陵辱を想像し頬をゆがませる…

誰にも知られないような薄暗い地下で、キュアサンシャインの命運は尽きようとしていた

「……これがキユアサンジヤインか
へえ……かわいいしじやん」

「反応無しか……察つかってて意識無いんだって？」

「楽しみだなあ……どんな声で泣くのかな？」

……………う……………？

「まあこのまま輪姦すのもかわいいそうだし
あのお薬使ってみようか……」

あ……………う……………

「これはたくさんセックスできるようななる魔法のお薬なんだよ...」
「頭が少しエツチになっちやうけどね」

「これを子宮で消化しちやうと...」
「もう普通の女の子には戻れなくなっちやうよ」

「カタカタ震えてんじゃん
かわいそうだから早く楽にしてやんなきゃ」

「うは...マンコの中丸見えだ...早くチンポ
突っ込めてー」

「閉じようとしても子宮の中まで広げられるから
すんなり入っちやうよ? ほら...」

「やめて...やめて...やめて...」

「チユプン...ジク...ジク...ジク」

「腰ガクガクして...かわいい
ばいばいキュアサンちゃんー」



あ……あ……からだ……が……っ……っ……っ……？
一体……なに……されて……？

「大分出来上がったねー
やらしい匂いがプンプンしてる」

「ちよつとこれ大丈夫か？
すげえ汁噴いてんじやん」

「あーこんなもんでしょ……全身の感覚が狂ってるんだ
セックス用に生まれ変わってるんだ、当然でしょ」

うまれ……かわる……
熱い……あつ……い……あつ……い

ガク
ガク

ビク
ビク
ビク

「マン」うねうねしてる……
もう我慢できねえ！ザーメンで汚してやるー！

「俺も俺もイクよ？サンシャイン……」

「ああ……もうこの娘……
マンコもケツ穴も突っ込まれまくって
閉じなくなっちゃうんだ……」

おとこのひと……いつぱい
やだ……みんな……はだか……う
体……爆発……しそ……う……

「あーう…は…あ…っ！」

「あーガツガツ突くのいいぜ…
硬く締まるのこじ開けてく感じが…」

「ケツ無理に締めなくてもいいんだよう？
何も考えずに受け入れれば…」

太いい…おなか…えぐれる…う
そんな…こすられた…らあー！

「気持ちいいでしょ…エツチな匂いするよ…
無理矢理求められて…みんなこんなに興奮して…
もつと感じて？チンポ気持ちいいって言ってみな？」

「お…チンポ…もち…いい…っ

きもちいいっ！」

…すごい…すごい、すごいっ！

もつと早く、奥に…興奮して…る

体…こんなにされて…私…きもち…いい

「淫乱サンシヤイン…最高…ッ」

「イクよ？サンシヤインがこんなにエロイから…
イクよッッ！」

ガキッ 降キッ

ハッ
ハッ
ハッ



「は…やい！…もつと…ゆつくり…いつ」
「二本がお腹の中に食い込んで…引きずり出されるっ！…」

「いい感じにほぐれてきたな…」
ほら腰振ってごらん？ゆつくりとしてあげるから

腰…振るの…？私が？…

「可愛らしく悶えるサンシャインかわいい…」
もつと左右に振って、亀頭がこすれるのわかるか？」

…突くだけが…セックスじゃないんだ
先のほうが…引つかかかって…こすれるのいい…
私…もつとエツチになつて…興奮…する

「おお…大胆になつてきたぞ？」
一緒に気持ちよくなる？」

ああ…私…振ってる…
腰…止まらないっ…

ゴキョウ
グググ
グググ

ゴキョウ
グググ
グググ

ゴキョウ
グググ
グググ

激しっ…あ…お腹…のた打ち回って！

ビクッ…ビクッ…ビクッ…

あ…衝撃が…背中からかけ上がった…
頭…手カチカチして…

「う…体がうねって
絞り取られる…全部飲めよ…」

洪水みたいに…
身体がザーメンに押し流される…
こんなに…自分で腰振って…射精され…
私…イク…ツ

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

ドッ
ドッ
ドッ

…また…射精されてる…
体の中…吐き出されたザーメンだらけで…
押し入って新しいのが全身を巡ってく…
…あついの…また…おくに…

「ほら…一人で気持ちよくなってないで」

「…ありがとうございます…ます…
いっぱい射精されて…よかった…
たくさん…いつちやつた♥…」

—あ…また…イク…

セッ
セッ

ズン…ズン…ズン…

…ああ…こうすれば…男の人も…
「ごめんなさ…もうお腹いっぱい…
こぼれちゃう…せつかく…」

…興奮するんだ…また…しようとしてる
パンパンに腫れて…気持ちよくなりたがってる

「満足するまで…
いっぱい…こすって」

セッ
セッ

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

私も…またイク準備始めてる…
腰…たくさん振るから…ズン…ズン…
一緒に…気持ちよく…ああ♥…

…うううう…奥に…刺さる…

「俺のチンポ長いから結構

おまん「痛いぞじよ？」

「いたい…いたい…うー」

もう少し…ゆっくら…」

「だめだよ

奥のほう刺されるの

感じれるようになったらなれるまで…」

うぐっ

うぐっ！

ひたすら…突かれ…て
…こんなの…お腹…破れるっ…

ゴチュ♡♡

「ひぐ…うー！」

「子宮口突かれてまんこ締まる
ちやんとここでも感じてるんだよ？
もつと…力抜いて…受け入れて…」

ちから…ぬいて…
う…おくが…ずきずき…する

すくが♡

ニしゃ♡ニしゃ
ニしゃ♡ニしゃ
ニしゃ♡ニしゃ

コチュ♡♡

…入ってくる…奥に…おくら♡

「まるで犬の交尾みたいでしょ
逃がさない…このまま受精して！」

体重かけて…腰…吸い付いてる！
…教えられてるっ…交尾…っ！
射精される…捕らえられて…
もう止められないっ

…こうするんだ…
固く体抱きしめられて
無理矢理、子宮口ごと開けられて直接…
絶対…受精する…抵抗できないっ…
これが…交尾…犬のセックス…

腰…そんなにごすり付けて…
精液、ザーメン流れ落ちてく…

—あれ…奥の鈍い痛み…胸、ドキドキ…して
あついの…きもち…いい♡

ガッパ
ガッパ

ズリッ♡
ガッパ♡
ズリッ♡
ズリッ♡

ガッパ

ガッパ

ガッパ

はあ

はあ

ガッパ

ガッパ

ガッパ



……おわつ……た……？

ゴポ……ゴポ……トプン……

お腹の中……ザーメン……たくさんで
まだ……入れられてるみたい……
鈍い痛みが、奥に響いてる……

「そんなに腰振って……
まだ足りない？」

また……入ってくるっ……！

ああ……想像して……
奥が……熱くなって……

「……また痛い……欲しい♡」



——言っちゃった……
痛いのに……犬みたいにされるの……
クセに……なっちゃった……

ガ……チユ……♡クチユ♡

「やつと奥までチンポ入るようになったな
これがキユアサンシヤインの……子袋……」

おく……おくう……っ

なんでこんなところまで……はいるの……

いたい……でも……でも……

「痛い……？」

でも……キユーっって閉まるよ……

「……は赤ちゃん作りたいうつて言ってるよ……」

赤ちゃん……ああ……ここだされたら
……あついのが……たまっちやう……

「息荒くなってきたね……
早く慣れるようにたくさん突くから……いくよー！」

……い……ああっ……

「はあっ…はあっ…はあ…っ♡」

おチンポすごい…裏側までなぞられ…て
お腹が…ポコン…ポコン…って動いてる…
太いの…もつと…欲しい…

カッ

ビッ

「…もつと…」

もつとしてください♡…おチンポで
奥までかき回して♡」

き…きた！…興奮してる…
おチンポあんなに大きく反り返ってて…
絶対また奥まで…えぐられるう♡

カッ

カッ

カッ

カメラ…とられてる…みんなに…みられて…

「…エッチ大好きな…キュアサンシャイン…です
どんな穴でも…おチンポ…できます…
色んなおチンポで…奥までぐりぐりして…ほしいな
…いっぱい…種付けしてください♡」

「上手に言えたな…それじゃご褒美だ
もう「巡チンポぶち込んでやるぜ」

…またいっぱい人…また…



「この映像…色んなところで見られてるよ…
もつとたくさん男に相手してもらえるといいな」

あ…身体…震えて…っ
悦んでる？いっぱい…気持ちよく…されるの…

…はやく…おチンポ…ズポズポ…して♡♡…



男たちによって陵辱されていくキュアサンシャイン…
目を覚ますと、人通りのあまり無い、郊外のトイレに身体を固定されていた

公衆便女として浮浪者の相手をする…

男たちの欲望を受けた身体は、これから起きる更なる陵辱に不安と恐怖
そして、抵抗できずに犯され続けることへの焦燥感が、身体を震えさせる

しかし嫌悪感とは裏腹に、剥き出しになっている性器が期待に熱く濡れ、
男根を求めるあまり、両足を固定した紐が軋む音が響くのがあった…

剥き出し
OK!

「あんまりうるさくするといいぱい人寄ってきちゃうよ〜」

…なんで…トイレなんか…まだ夢…見てるのかな…
あ…体…落書きされてる…
ハハ…こんなの…嘘だ…

…これから…どうなっちゃうのかな…
また…知らない人に…乱暴されるのかな…

「ここかあ？
変態が出るって便所は…」

犯
無料で
イかせて!!

変態 **オア** **オシャイン**
中出し **OK!**

男の人の声…ああ…これ夢じゃないんだ…

ギン…ギン…ギン…ギン…
ばれちゃうのに…腰…止まらない
軋む音が…止まらな…

ハ

ハ

ハ

ハ
ハ

：男の人が私を見つけてからは一瞬だった
身体を固定して、すばやく男根をねじ込まれる…
垢と悪臭にまみれた男の人を
私の身体は驚くほど簡単に受け入れた

驚きと恐怖は薄れ
身体が欲情に馴染んでいく
言葉で拒絶しようとしても無駄なのがわかる

…セックス…してる…

感極まつて抱きしめられた身体が軋む
射精が収まらず、結合部から精液があふれ出した

キッ
キッ
キッ
キッ

欲情を吐き出すためのモノ…
それが自分が便所に吊るされた理由…

私の身体はいつまでも男に揺さぶられて
人形のように揺れていた…

ググッ
ズグッ

ガクッ
ガクッ

グッ!!
110キッ

114キッ

「がっ！...う...すこし...やすませっ？！」

...これで何人目だろう...
手足の感覚は薄れてくのに...お腹の奥...が...

...どうして...答えてくれないんだろう...
どの男の人も...ただ...犯すだけ...
ひたすら精液で汚されてく...身体

ビクッ

ビクッ

ガッガッ
ガッガッ
ガッガッ

ガッガッ
ガッガッ
ガッガッ

ガッガッ
ガッガッ
ガッガッ

ガッガッ

ガッガッ

ウ... おオオオオツ！

獣のようなうめき声...誰が言ってるのか...
...私...?

熱と音と疼き...
身体の射精の印がまたひとつ増える...
...崩れてく...私...

「すごいな…便所の外まで精液の匂いがする」

……あれ……

「……どうして……」

「ずいぶん可愛がられたみたいだな…
体中ザーメンだらけ…便女らしい姿だ…」

…きいたことある…こえ…だれ？

「素のいつきがみたら卒倒しそうだ…
もつともそんな女の子もういないけどね…」

…だれ…だっけ…おもいだせない…

ああ…おなかのザーメンこぼれて…いやだな…

「もうずっとこうやって生きてくんだ…」

何度犯されて…妊娠しても…全部見せ物…」

ああ！あのおチンポ見た事ある…！

血管浮き出て反ってて…おマン」が形覚えてる♡
匂いも…クラクラ…したんだ…これ…♡

キス…覚えてる…唾の味、たくさん愛し合った…
どうしよう…ドキドキ…するう…♡

「…好き…好きなの♡…おまん…こしてくださ…」

いっぱいひとつに…なりたいの…おじさん♡」

おちんぽが…ザーメンかきだして…

うれしくて…涙で…よく…おじさん…みえないよ…

…私は…陽の光浴びる一輪の花…

キュアサンシャイン…

「大きくなってきたね…お腹…
もうすぐ産まれるんじゃない？」

—まもら…なきや…

…何を？

「誰の種なのかな？」

種…たね？…お腹…熱い…

「何本チンポ突っ込まれたのかわかんねーからなあ」

「もつとチンポさすつて…意識飛んでるのかな？…
おーい起きてよ」

うっ？…夢…見てみたい…

おなか…うっうっうっされて…腰…抜けちゃう
…ああ…もつと…おまんこ…さすつて…

「奥が…チンポにあたって…
「リリ」リリして気持ちいいよ…
腰ふってそんなに気持ちいい？」

クニクニ

「きもちいい…きもちいいよお
や…胸…あふれちゃ…うっ♡」

「赤ちゃん待ちきれないんだね
お乳の匂いすごいエッチだ」

…精液出そうなのわかる…トロトロお汁いっぱい…
指…ピクピクして…エッチな匂い溜まってる…

「たっぷり
飲ませてあげる…
ザーメン臭い子宮で詰るっ！」

舌♡

ニムニム！
ニムニム！
ニムニム！

ニムニム！
ニムニム！
ニムニム！

ニムニム！
ニムニム！
ニムニム！

「イク…イク…いく…うっ♡」

…赤ちゃんビクッて…あ…あ…
ザーメンいっぱい…全身で…射精されて…るっ♡

…射精しても…固くて押されるの…いい♡
がんばる…から…もっ…もっ…

「お腹ザーメンだらけにするよ？もっ…もっ…子供産んで…」

産む…から…身体も…そう言っ…もう…だめ♡♡
「固いまま…だめ！イク♡イク♡イクッ♡」





いつきの心と身体は、男との関係を受け入れるようになっていった
日常の裏で男との秘密の行為を深めていく…

自ら性器を刺激するよう命令され、男の上で腰を振るいつき
全身が熱く興奮し、大きい男根をより深々と飲み込んでしまう
自由がきかず熱心になってしまう腰を、ただ眺める男

…静かな空間で、ただ息遣いだけが響く

いつしか羞恥や性交への疑念が薄れていきただ、性器から伝わる快楽を貪っていく…

はあ…はあ…はあ…なに…いまの…?

「ちゃんとイけたみたいだね…いつまちゃん」

………いった…の…僕?

びく!♡

びく♡

「きもち…よかった…
すごい…なに…これ…」

「身体がおじさんのセックスを
気持ちいいって言うてるんだよ…」

びく♡

…おじさんの涎と溶け合って…ひとつになってる…
…あ…お腹の中…精液で…いっぱい…
…きもちいい…よ…

グッ♡

びく♡

びく♡

「いつものおまんこ絡み付いて…おま…良らよ…」

…そんなこと…いわなっ…いで…
おチンポに…絡み付いちやう♡

突くの…早い…そんなに…気持ち…いいの？

はあ…はあ…固い…ので押され続けて…

「おじさ…ん

もう…イっちゃう…も…ダメ…」

「このままだと中に出しちゃうよ…いいの？」

「中でいいの！おねが…っ
もう…も…イク…ツ♡」

おっ！おっ！

グッ！グッ！

イっちゃう！！

おっ！おっ！

おっ！おっ！



